
とある副会長のような少年の転生物語 ~ 緋弾のARIA編 ~

ちやるっぷ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある副会長のような少年の転生物語 〈緋弾のアリア編〉

【コード】

N5094X

【作者名】

ちやるつぶ

【あらすじ】

『緋弾のアリア』&『主人公だけとある副会長に似ている少年』の二次小説です。メジャーなオリ主転生チートものでやりたいと思います。

まず主人公は杉崎鍵みたいなハーレム目指してた少年です。その少年が転生先の世界である緋弾のアリアの世界でハーレムを作ろうとする。というのが大体の骨組みになっています。

11月くらいから更新し始めます。

第一話〜転生〜

〜マサキ〜

『……………あれっ……………』

俺は気がつくくと光の中にいた。

夢か？ けど夢って自覚できたか？ まさかあの世だったりして！

『そっじゃよ』

まあそんなわけないよな！……………つて……………あれ？

なんかじいさんみたいな声を聞こえたような気がした。

『だから……………ここはあの世じゃよ いや、おぬしのいつとるあの世が天国や地獄なら厳密にはまだあの世ではないの……………』

声のした方を見てみるとサンタ……………じゃなくてサンタのコスプレをしているじいさんがいた。

『あの〜サンタのコスプレをした天国や地獄何て言っている厨二病のじいさんが何のようですか？』 『わしはそんな危ない奴じゃないわいつ！ 全く……………そっちの世界では冬だったから着てみただけだといつのに……………』

『やばいつ そっち世界とかまた言い始めたよ……………病院に電話しな

『神様じゃよ』

『本当に?』

『本当じゃ』

『本当の本当に?』

『本当の本当じゃ』

俺はだんだん笑顔になってきた神様?が怖くなったので気になって
いたことを聞いてみた。

『……………ところで俺は天国や地獄でないところにいるんですか
?』

『それはじゃな、わしが恋の神様だからじゃよ』

『恋の神様?』

『そうじゃ。わしは死んだ者が満足に恋をしていなかった時にその
者に再びチャンスを与える役割の神様じゃ』

『普通に満足しなかっただけではだめじゃぞ。おぬしのように俺の
ハーレムを作るとか言っとったくせに結局一人も落とせなかった可
哀相な者、100人以上に告白したが全て振られた者などだけじゃ
よ』

なんか胸が痛い。なんでだろ?

『で、チャンスって何ですか?』

『転生じゃよ』

俺はあの二次創作とかでよくある転生かなと思った。

『あと、おぬしに5つだけ好きな事を叶えさせてやるぞ』

なら元の世界に戻ってみんなを……

『ただし元の世界に戻れぬぞ』

『あと人の記憶や感情をかえるのもな』

……………まあそんなに上手くは行かないよな

ここは開き直るか

『じゃあ「転生先は緋弾のアリアの世界」で「光も目で追える動体視力」と「10キロいないにいる者の気配を感じ取れる空間察知能力」と「戦闘能力においてランク武偵8人掛かりでも余裕に倒せる緋弾のアリアの世界の中で圧倒的に1番の力」と「転生先の詳細がイ・ウーの戦艦の中」だったのでお願いします。』

『おぬし……すごい欲じゃの……本来ならここまでの願いは叶えられぬがまあおぬしは過去3000兆年で1番残念な奴じゃったから特別じゃ ハアーツ』

なんだ急に頭がポーツと……………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5094x/>

とある副会長のような少年の転生物語 ~ 緋弾のエリア編 ~

2011年10月21日15時03分発行